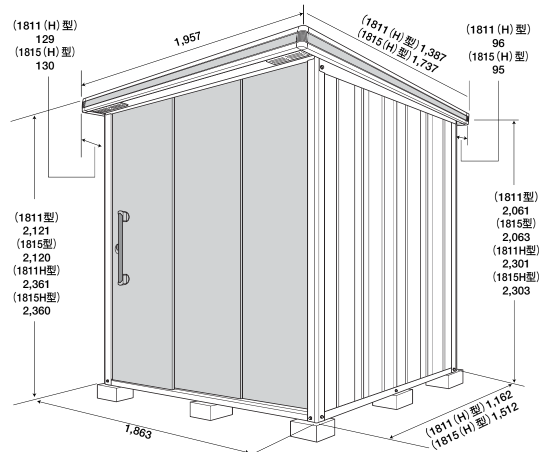
ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMC-1811型・1811H型・1815型・1815H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。


(1811(H)型)
129
(1815(H)型)
130
1,957
(1811(H)型) 1,387
(1815(H)型) 1,737
(1811(H)型)
96
(1815(H)型)
95
(1811型)
2,121
(1815型)
2,120
(1811H型)
2,361
(1815H型)
2,360
(1811型)
2,061
(1815型)
2,063
(1811H型)
2,301
(1815H型)
2,303
1,863
(1811(H)型) 1,162
(1815(H)型) 1,512

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

※この組立説明書は「1815」の組立手順を基本に説明しております。

組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

組立に使用するボルトについて

エルモ アンプレッセeは、組立に使用するボルトの色が2種類あります。部材の色に合わせてボルトを使い分けてください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種＼梱包	部品	前後材	左右材	柱	床	屋根	壁	袖壁	鼻隠し・補強	扉	棚板	計
1811型	LM4-0132	LM4-0203	LM3-0302	LM3-0401	6-708	LM3-0930	LM3-1014 LM3-1023	−	LM3-1132	LM4-1703	LM3-1903	11
1811H型	LM4-0132	LM4-0203	LM3-0352	LM3-0451	6-708	LM3-0930	LM3-1064 LM3-1073	LM3-1055	LM3-1132	LM4-1753	LM3-1903	12
1815型	LM4-0132	LM4-0203	LM3-0303	LM3-0401	6-085	LM3-0916	LM3-1012 LM3-1014 LM3-1021	−	LM3-1132	LM4-1703	LM3-1903	12
1815H型	LM4-0132	LM4-0203	LM3-0353	LM3-0451	6-085	LM3-0916	LM3-1062 LM3-1064 LM3-1071	LM3-1055	LM3-1132	LM4-1753	LM3-1903	13

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM4-0132（1811(H)・1815(H)）

部材名		数量
ELC AS下枠接続金具 前 右		1
ELC AS下枠接続金具 前 左		1
接続金具 後		2
ELC棚受 N 右		3
ELC棚受 N 左		3
ELC床押え取付金具		4
ELC下レール取付金具		6
間柱金具⑤		2
屋根止結金具		12(1)
ELC間柱固定金具		2
ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15		5(1)
工具キット04		1
ELC連動車		1
ELC戸当り孔フサギ		1
EL鍵孔フサギ		1
戸滑り右(小ネジM4×10 1本付)		1
壁パネル止結金具		46(1)
ELC柱補強金具		1
戸車上昇防止プレートAS		3
ELC扉支持金具		1
小ネジM4×10		3(1)
打込みアンカー(L=324)		4
アンカープレートL		4
ELC取手		1
ボルトM6×15(白)	エルモ	154(5)
	エルモアンプレッセe	92(3)
ボルトM6×15(茶)	エルモアンプレッセeのみ	63(3)
フランジナットM6		6(1)
組立説明書		1
取扱説明書		1
組立チェックシート		1
保証書(二年)		1
機種名ラベル		1
ソフトテープL=1800		2

●前後材

LM4-0203（1811(H)・1815(H)）

部材名	数量
ELC下枠前AS-A2.5	1
ELC下枠後A2.5	1
ELC上枠前AS-A2.5	1
ELC上枠後A2.5	1
ELC床押え後A2.5	1
ELC下レールAS-A2.5	1
ELC扉後隙間隠し AS-C	1
ELC扉支持材 AS-C	1

●左右材

LM3-0302（1811）

部材名	数量
ELC下枠側A1.5右,左	左右各1
ELC上枠左 A1.5	1
ELC上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5L	2

LM3-0303（1815）

部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC上枠左 A2.0	1
ELC上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0L	2

LM3-0352（1811H）

部材名	数量
ELC下枠側A1.5右,左	左右各1
ELC上枠左 A1.5	1
ELC上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5H	1

LM3-0353（1818H）

部材名	数量
下枠側A2(94)	2
ELC上枠左 A2.0	1
ELC上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0H	2

●柱

LM3-0401（1811・1815）

部材名	数量
ELC柱前・AS-右L	1
ECL柱前・AS-左L	1
ELC柱後L	2
ELC間柱前L	1
ELC間柱後L	2
ELC戸当り(M)L	1

LM3-0451（1811H・1815H）

部材名	数量
ELC柱前・AS-右H	1
ELC柱前・AS-左H	1
ELC柱後 H	2
ELC間柱前H	1
ELC間柱後H	2
ELC戸当り(M)H	1

●床

6-708（1811(H)）

部材名	数量
床板・B2	5

6-085（1815(H)）

部材名	数量
床板・A2	5

●屋根

LM3-0916（1815(H)）

部材名	数量
ELC屋根板・大・A2.0	1
ELC屋根板・小・A2.0	4

LM3-0930（1811(H)）

部材名	数量
ELC屋根板・大・A1.5	1
ELC屋根板・小・A1.5	4

●壁

LM3-1012（1815）

部材名	数量
ELC壁・L-A	2

LM3-1014（1811・1815）

部材名	数量
ELC壁・L-A	4

LM3-1021（1815）

部材名	数量
ELC壁 L-F	1

LM3-1023（1811）

部材名	数量
ELC壁 L-F	3

LM3-1062（1815H）

部材名	数量
ELC壁 H-A	2

LM3-1064（1811H・1815H）

部材名	数量
ELC壁 H-A	4

LM3-1071（1815H）

部材名	数量
ELC壁 H-F	1

LM3-1073（1811H）

部材名	数量
ELC壁 H-F	3

●袖壁

LM3-1055（1811H・1815H）

部材名	数量
ELC袖壁 H-C	1

●鼻隠し・補強

LM3-1132（1811(H)・1815(H)）

部材名	数量
ELC鼻隠し前 A2.5	1
ELC鼻隠し後 A2.5	1
ELC換気栓	2
ELCはりBC A2.5(S)	1
床補強 A2.5	1

●扉

LM4-1703（1811・1815）

部材名	数量
ELC扉前 L-C	1
ELC扉後 L-C	1
ELC袖壁 L-C	1
ELC戸当たり(T)L	1
EL戸車プレート AS-C(左)	1
EL戸車プレートAS-C(右)	1
扉施工説明書	1

LM3-1753（1811H・1815H）

部材名	数量
ELC扉前 H-C	1
ELC扉後 H-C	1
ELC戸当たり(T)H	1
EL戸車プレート AS-C(左)	1
EL戸車プレートAS-C(右)	1
扉施工説明書	1

●棚

LM3-1903（1811(H)・1815(H)）

部材名	数量
ELC棚板 A2.0N	2

○部材名称にはA1.5、A2.0、A2.5等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。
○数量の( )内は予備数量

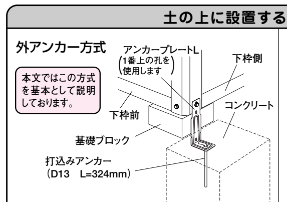
○外部用ボルトの色
エルモ…白
エルモ アンプレッセe…茶

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

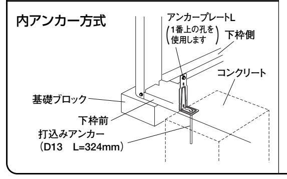
土の上に設置する場合

外アンカー方式

本文ではこの方式を基本として説明しております。

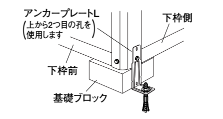

アンカープレートL
(1番上の孔を使用します)
下枠側
コンクリート
下枠前
基礎ブロック
打込みアンカー
(D13 L=324mm)

内アンカー方式


アンカープレートL
(1番上の孔を使用します)
下枠側
コンクリート
基礎ブロック
下枠前
打込みアンカー
(D13 L=324mm)

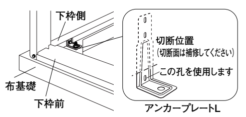
打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm（Hタイプは40cm）、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）
打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合


アンカープレートL
(上から2つ目の孔を使用します)
下枠側
下枠前
基礎ブロック

※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。

布基礎の上に設置する場合


下枠側
布基礎
下枠前
切断位置
(切断面は補修してください)
この孔を使用します
アンカープレートL

※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

使用ビス一覧

ボルト（白）
ボルト（茶）アンプレッセeのみ
M6×15

ナット
M6

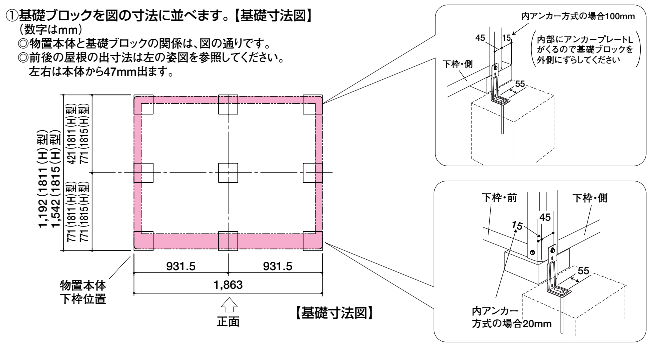
ボルト
（スプリングワッシャー付）
M6×15

小ネジ
M4×10

ボルトの色は、部材の色に合わせて使い分けてください。

1 基礎寸法について

①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。

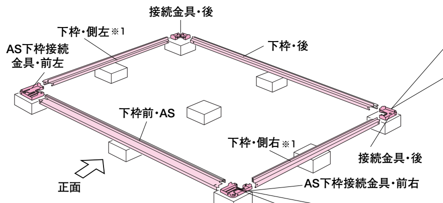

1,192(1811(H)型)
1,542(1815(H)型)
421(1811(H)型)
771(1815(H)型)
771(1811(H)型)
771(1815(H)型)
931.5
931.5
1,863
物置本体
下枠位置
正面
内アンカー方式の場合100mm
45
15
内部にアンカープレートLがくるので基礎ブロックを外側にずらしてください
下枠・側
55
下枠・前
下枠・側
15
45
55
内アンカー
方式の場合20mm

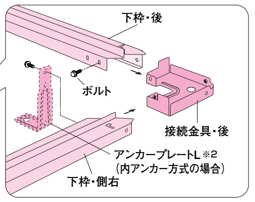
【基礎寸法図】

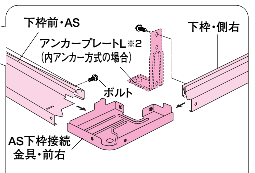
2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・側右、左**および**下枠・後**を差込み、ボルト止めします。（1815(H)型の下枠側は左右共通です）
③**AS下枠接続金具・前右**に**下枠前・AS**および**下枠・側右**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります


接続金具・後
下枠・側左※1
AS下枠接続
金具・前左
下枠・後
下枠前・AS
下枠・側右※1
接続金具・後
正面
AS下枠接続金具・前右


下枠・後
ボルト
接続金具・後
アンカープレートL※2
(内アンカー方式の場合)
下枠・側右


下枠前・AS
アンカープレートL※2
(内アンカー方式の場合)
下枠・側右
ボルト
AS下枠接続
金具・前右

下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。

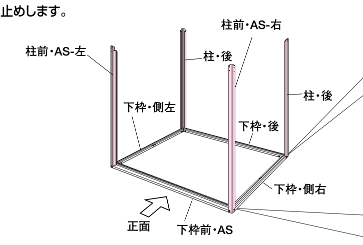
※1. 1815(H)型の下枠側は左右共通です。

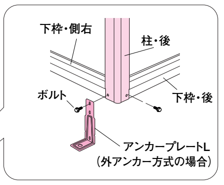
※2. アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートL**を**下枠・側右、左**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。
床板を並べる前に取付けてください。

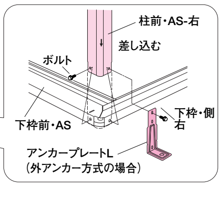
ボルト 8本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶

3 柱の組立

柱前・AS右、左の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。外アンカー方式の場合、同時にアンカープレートLを下枠・側右、左に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。柱・後も同様に差し込みボルト止めします。


柱前・AS-左
柱・後
柱前・AS-右
柱・後
下枠・側左
下枠・後
下枠・側右
正面
下枠前・AS


下枠・側右
柱・後
ボルト
下枠・後
アンカープレートL
(外アンカー方式の場合)


柱前・AS-右
差し込む
ボルト
下枠前・AS
下枠・側右
アンカープレートL
(外アンカー方式の場合)

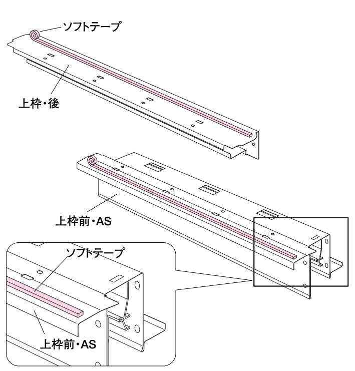
ボルト 8本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶

4 上枠の組立

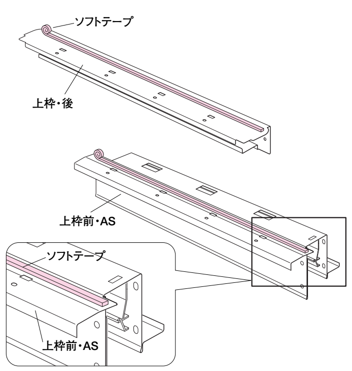
①**ソフトテープ**を**上枠前・AS**および**上枠・後**に貼付けます。

注意 ソフトテープを貼る位置は、機種により異なりますので間違わないようにしてください。
ソフトテープはしっかりと貼付けてください。

1811(H)型

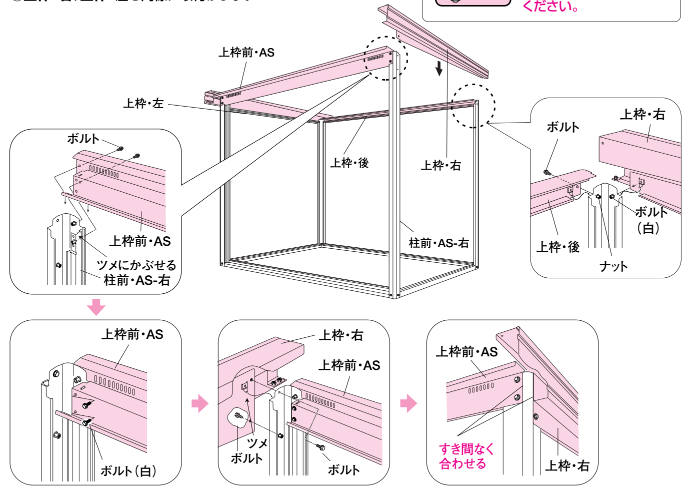

ソフトテープ
上枠・後
上枠前・AS
ソフトテープ
上枠前・AS

1815(H)型


ソフトテープ
上枠・後
上枠前・AS
ソフトテープ
上枠前・AS

②**上枠前・ASを柱前・AS右、左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。

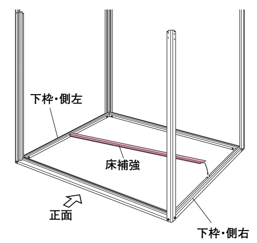
注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。


上枠前・AS
上枠・左
上枠・後
上枠・右
柱前・AS-右
ボルト
上枠前・AS
ツメにかぶせる
柱前・AS-右
上枠・右
ボルト
ボルト
(白)
上枠・後
ナット
上枠前・AS
ボルト(白)
上枠・右
上枠前・AS
ツメ
ボルト
ボルト
上枠前・AS
すき間なく
合わせる
上枠・右

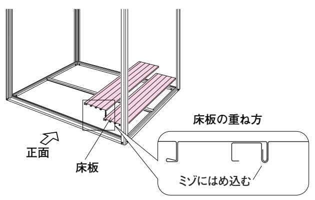
ボルト 16本、ナット 2コ	エルモ…ボルト白16本,ナット2コ
	エルモ アンプレッセe…ボルト茶8本,白8本,ナット2コ

5 床板の組立

①**床補強**を**下枠・側右、左**の切込みに落し込みます。

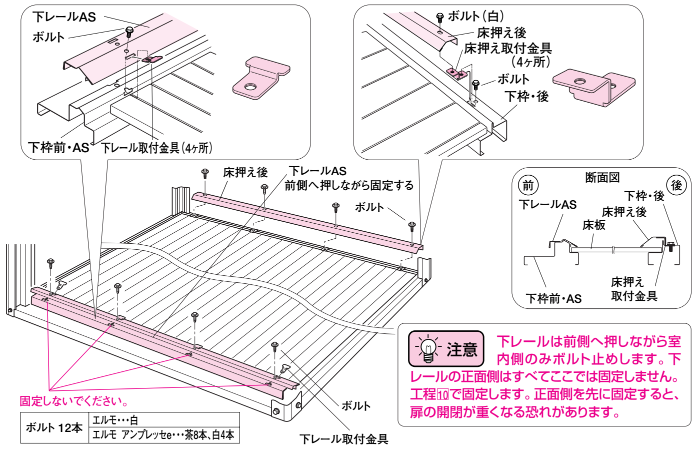

下枠・側左
床補強
正面
下枠・側右

②**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。


正面
床板
床板の重ね方
ミゾにはめ込む

6 下レール・床押え後の組立

下レールASと**床押え後**を取付けます。**下レールAS**は**床板**と**下枠前・AS**の上に載せ、庫内側のみ**下レール取付金具**でボルト止めします。
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせボルト止めします。

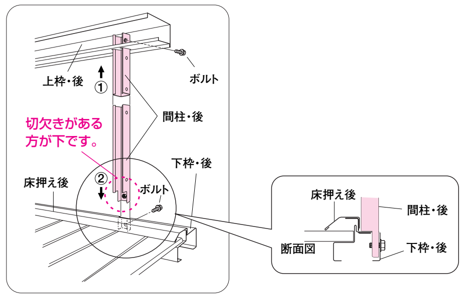

下レールAS
ボルト
下枠前・AS
下レール取付金具(4ヶ所)
ボルト(白)
床押え後
床押え取付金具
(4ヶ所)
ボルト
下枠・後
床押え後
下レールAS
前側へ押しながら固定する
ボルト
前
断面図
後
下レールAS
下枠・後
床押え後
床板
下枠前・AS
床押え
取付金具
固定しないでください。
ボルト
下レール取付金具

注意 下レールは前側へ押しながら室内側のみボルト止めします。下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程⑩で固定します。正面側を先に固定すると、扉の開閉が重くなる恐れがあります。

ボルト 12本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶8本、白4本

7 間柱後の組立

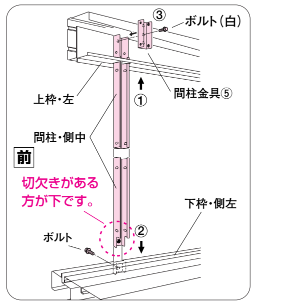
①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。


上枠・後
ボルト
間柱・後
切欠きがある
方が下です。
床押え後
ボルト
下枠・後
床押え後
間柱・後
断面図
下枠・後

ボルト 4本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶

8 間柱側の組立

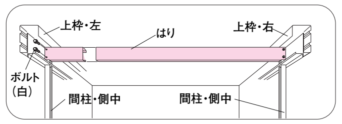
①**間柱・側中**の上端を**上枠・左（右）**に、差し込みます。
②下端を**下枠・側左（右）**に差し込みボルト止めします。
③上端に**間柱金具⑤**をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。

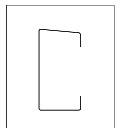

ボルト(白)
上枠・左
間柱金具⑤
間柱・側中
前
切欠きがある
方が下です。
下枠・側左
ボルト

ボルト 4本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶2本、白2本

9 はりの組立

はりを両側の**間柱・側中**の上にのせてボルトで止めます。


上枠・左
はり
上枠・右
ボルト
(白)
間柱・側中
間柱・側中



はり断面図

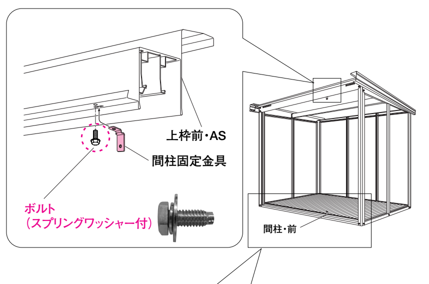
ボルト(白)4本

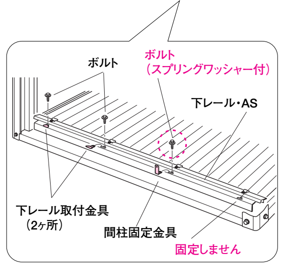
10 間柱前の組立

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。
それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書⑩、⑯〜㉑を読んでください。（ ）内のボルトはボルト（スプリングワッシャー付）を使用してください。

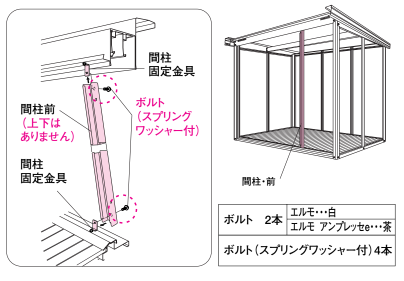
●左側開口の場合

①**上枠前・AS、下レール・AS**（工程⑥で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。


上枠前・AS
間柱固定金具
ボルト
(スプリングワッシャー付)
間柱・前

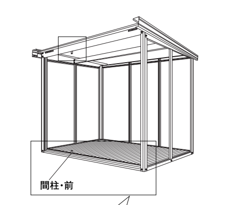

ボルト
ボルト
(スプリングワッシャー付)
下レール・AS
下レール取付金具
(2ヶ所)
間柱固定金具
固定しません

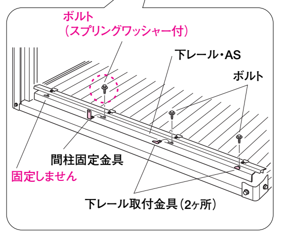
②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。

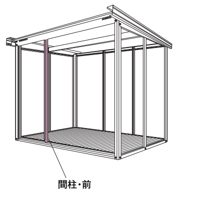

間柱
固定金具
間柱前
(上下はありません)
ボルト
(スプリング
ワッシャー付)
間柱
固定金具
間柱・前

ボルト 2本	エルモ…白
	エルモ アンプレッセe…茶
ボルト(スプリングワッシャー付)4本	

●右側開口の場合




ボルト
(スプリングワッシャー付)
下レール・AS
ボルト
間柱固定金具
固定しません
下レール取付金具(2ヶ所)

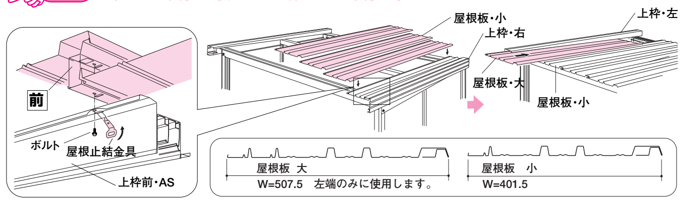


11 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、（1枚目～4枚目）左端に**屋根板・大**（5枚目のみ）を取付けます。
この時 前 のマークの入っている方を前にします。
②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後**の**角孔**に屋根止結金具（8ヶ所）を通しボルトで仮止めします。**上枠前・AS**も同様に仮止めします。

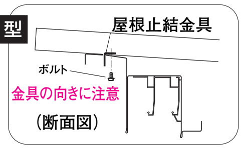
注意 ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。

ワンポイント 屋根止結金具は、上枠・後から先に取付け仮止めします。屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。

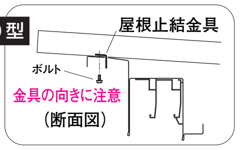

前
ボルト
屋根止結金具
上枠前・AS
屋根板・小
上枠・右
屋根板・大
屋根板・小
上枠・左
屋根板　大
W=507.5　左端のみに使用します。
屋根板　小
W=401.5

注意 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。
1815（H）型と1811（H）型とでは屋根勾配が変わるため屋根止結金具の向きが変わります。

1811（H）型


屋根止結金具
ボルト
金具の向きに注意
（断面図）

1815（H）型


屋根止結金具
ボルト
金具の向きに注意
（断面図）

ボルト 8本	エルモ・・・白
	エルモ アンプレッセe・・・茶4本、白4本
屋根止結金具 8コ	

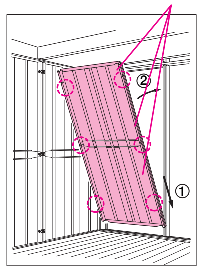
12 袖壁・壁パネルの取付け

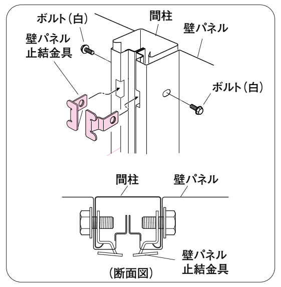
①室内から**壁パネル（Ⓐ壁・Ⓕ壁の2種類があります）**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。

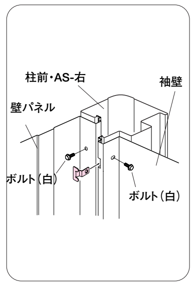
注意 壁パネル、袖壁は上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。

ワンポイント 壁パネルが取付けにくい場合、屋根止結金具のボルトを緩めると取付けやすくなります。

◌は壁パネル止結金具固定箇所

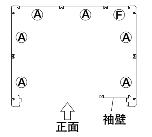



ボルト（白）
間柱
壁パネル
壁パネル止結金具
ボルト（白）
間柱
壁パネル
壁パネル止結金具
（断面図）

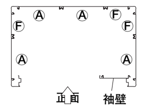

柱前・AS-右
袖壁
壁パネル
ボルト（白）
ボルト（白）

壁パネルの取付位置

1815（H）型

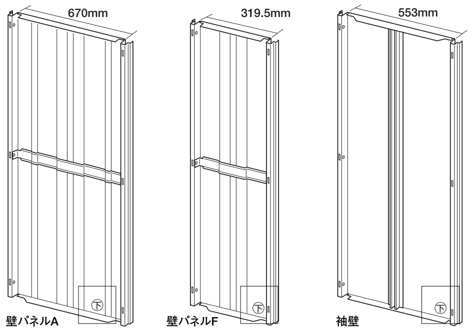


1811（H）型



ボルト（白） 48本
壁パネル止結金具 42コ

壁パネルの種類

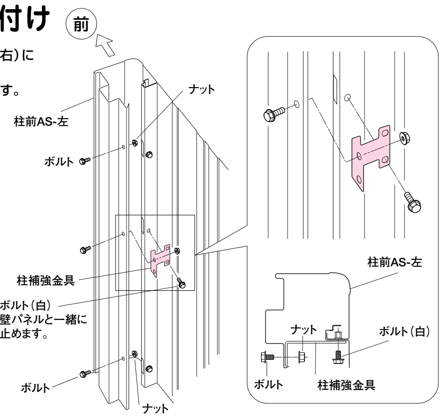

670mm
319.5mm
553mm
下
下
下
壁パネルA
壁パネルF
袖壁

表示のある方が下です。

13 柱補強金具の取付け

柱前AS-左（右側開口の場合は柱前AS-右）に柱補強金具をボルト止めします。
上下の孔はボルト・ナットで孔をふさぎます。

注意 右側開口の場合、柱補強金具を柱前AS-右にボルト止めしてください。

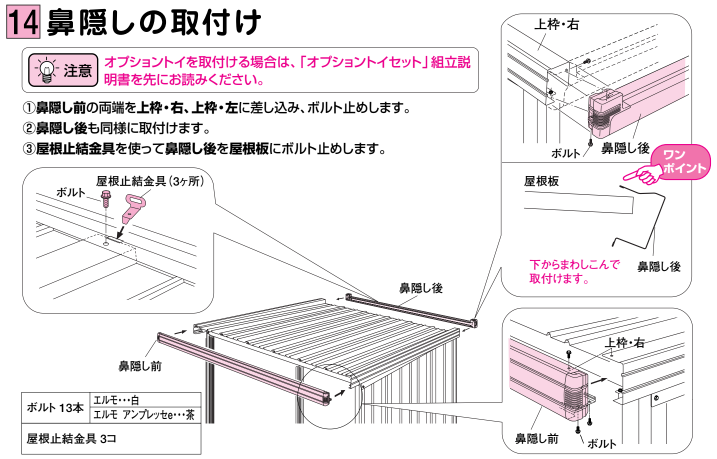

前
ナット
柱前AS-左
ボルト
柱補強金具
ボルト（白）
壁パネルと一緒に止めます。
ボルト
ナット
柱前AS-左
ナット
ボルト（白）
ボルト
柱補強金具

ボルト 3本、ナット3コ	エルモ・・・白
	エルモ アンプレッセe・・・茶

14 鼻隠しの取付け

注意 オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**にボルト止めします。


屋根止結金具（3ヶ所）
ボルト
鼻隠し後
鼻隠し前
上枠・右
ボルト
鼻隠し後
ワンポイント
屋根板
鼻隠し後
上枠・右
鼻隠し前
ボルト

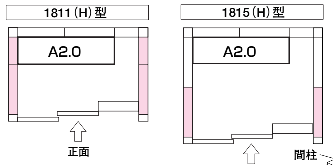
下からまわしこんで取付けます。

ボルト 13本	エルモ・・・白
	エルモ アンプレッセe・・・茶
屋根止結金具 3コ	

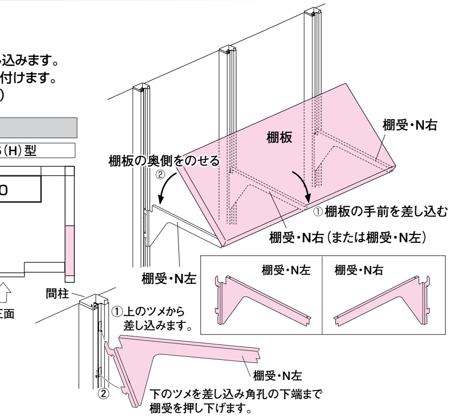
15 棚板の取付け

①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
（標準で棚板A2.0が2枚付いています。）

棚板が取り付けられる位置


1811（H）型
A2.0
正面
1815（H）型
A2.0
正面

注意 ▭の壁パネルには棚受けは取付けできません。

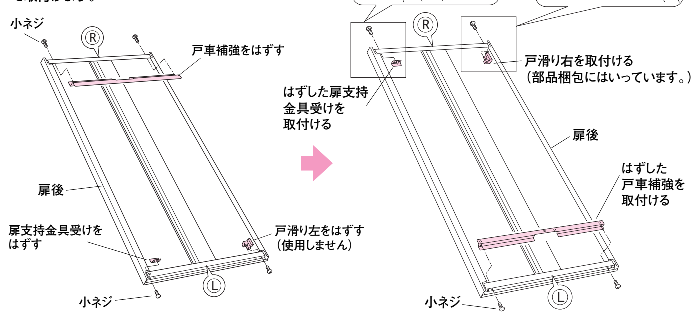

棚板
棚受・N右
棚板の奥側をのせる
②
①棚板の手前を差し込む
棚受・N右（または棚受・N左）
棚受・N左
棚受・N左
棚受・N右
間柱
①上のツメから差し込みます。
棚受・N左
②

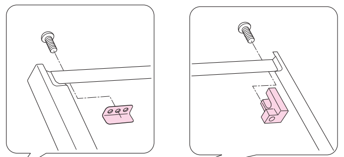
下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。

16 扉取付け前工程（右側開口に変更する場合のみ）

注意 右側開口のみ前行程を行って下さい。工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっています。左側開口の場合は前工程は必要ありません。

扉後に取付けてある戸車補強と戸滑り左および扉支持金具受けをはずし、上下反対方向にはずした戸車補強と扉支持金具受けと部品梱包に入っている戸滑り右を小ネジで取付けます。


小ネジ
Ⓡ
戸車補強をはずす
扉後
扉支持金具受けをはずす
戸滑り左をはずす（使用しません）
Ⓛ
小ネジ
Ⓡ
はずした扉支持金具受けを取付ける
戸滑り右を取付ける（部品梱包にはいっています。）
扉後
はずした戸車補強を取付ける
小ネジ
Ⓛ

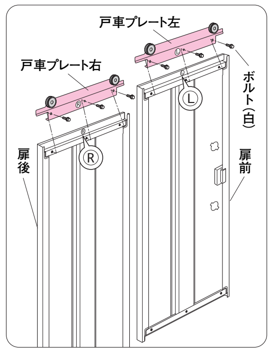


17 戸車プレートの取付け

●左側開口の場合

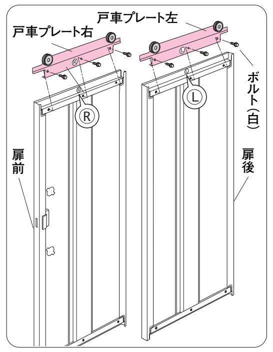
戸車プレートを**扉・前**、**扉・後**に取付けます。

注意 戸車プレートには、ⓇⓁ区別があります。図の通り戸車プレートと扉の記号（ⓇⓁ）を合わせて、正しく取付けてください。戸車プレートのⓇⓁを間違えて逆に取付けると扉がスムーズに開閉できなくなります。


戸車プレート左
戸車プレート右
Ⓛ
Ⓡ
ボルト（白）
扉後
扉前

ボルト（白）　6本

●右側開口の場合


戸車プレート左
戸車プレート右
Ⓡ
Ⓛ
ボルト（白）
扉前
扉後

18 扉支持材の取付け

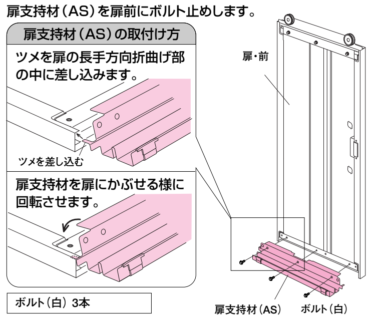
●左側開口の場合

扉支持材（AS）を扉前にボルト止めします。

扉支持材（AS）の取付け方

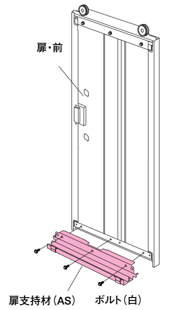
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。

扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。


ツメを差し込む
扉・前
扉支持材（AS）
ボルト（白）

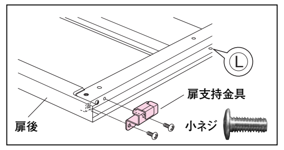
ボルト（白） 3本

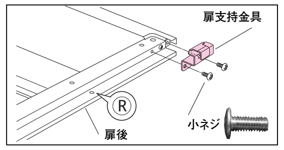
●右側開口の場合


扉・前
扉支持材（AS）
ボルト（白）

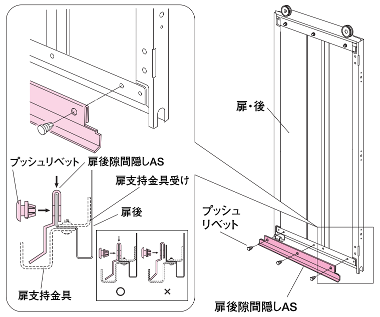
19 扉後隙間隠しの取付け

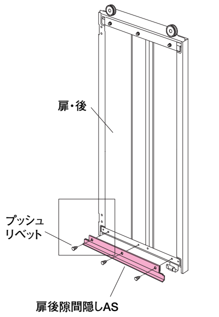
①扉支持金具を扉後にボルト止めします。


Ⓛ
扉支持金具
扉後
小ネジ


扉支持金具
Ⓡ
扉後
小ネジ

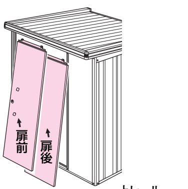
②扉後隙間隠し（AS）を扉後に取付けます。

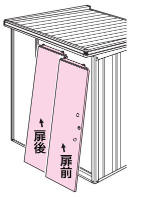

プッシュリベット
扉後隙間隠しAS
扉支持金具受け
扉後
扉支持金具
○
×
扉・後
プッシュリベット
扉後隙間隠しAS


扉・後
プッシュリベット
扉後隙間隠しAS

20 扉の吊り込み

扉・後、**扉・前**の順番で吊り込みます。

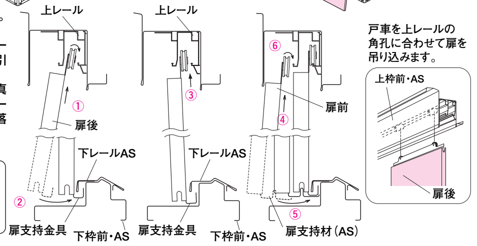




扉の吊り込み方

- ●戸車プレートを上レールに差し込みます。まだ戸車を上レールにはのせません。①
- ●扉支持金具（扉前は扉支持材）を下レールAS（扉前は下レールASと扉後）に引っ掛けます。②
- ●戸車を上レールの角孔に合わせ、扉を真っすぐに持ち上げ、扉支持金具を下レールに引っ掛けながら戸車を上レールに落とし込みます。③
- ●扉前も同様に取付けます。④～⑥

注意 扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。

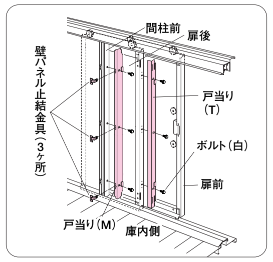

上レール
①
扉後
下レールAS
②
扉支持金具
下枠前・AS
上レール
③
下レールAS
扉支持金具
下枠前・AS
⑥
④
扉前
⑤
扉支持材（AS）
上枠前・AS
扉後

戸車を上レールの角孔に合わせて扉を吊り込みます。

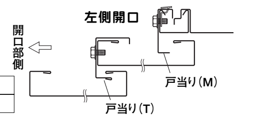
21 戸当り（M）（T）の取付け

扉前・扉後・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り（M）**を開口部側に壁パネル止結金具で取付け、扉後に**戸当り（T）**をボルト止めします。

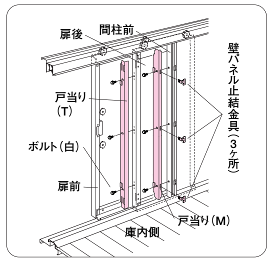
注意 扉を開閉した時、戸当りと扉（補強）が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。


間柱前
扉後
壁パネル止結金具（3ヶ所）
戸当り（T）
ボルト（白）
扉前
戸当り（M）
庫内側

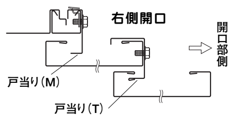
戸当り（M）（T）の取付位置


左側開口
開口部側
戸当り（M）
戸当り（T）

ボルト（白） 6本
壁パネル止結金具 3コ


扉後
間柱前
戸当り（T）
ボルト（白）
扉前
壁パネル止結金具（3ヶ所）
戸当り（M）
庫内側

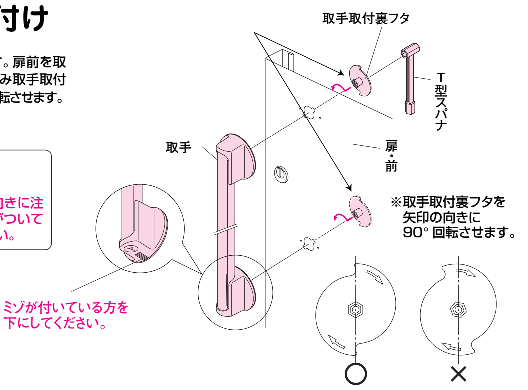
戸当り（M）（T）の取付位置


右側開口
開口部側
戸当り（M）
戸当り（T）

22 取手の取付け

取手を**扉・前**に取付けます。扉前を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで90°回転させます。

注意 取手には上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。


取手取付裏フタ
T型スパナ
取手
扉・前
○
×

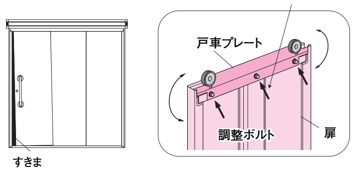
ミゾが付いている方を下にしてください。

※取手取付裏フタを矢印の向きに90°回転させます。

23 扉の建付けの調整

扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト（**調整ボルト**）をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します（扉前・後）。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。

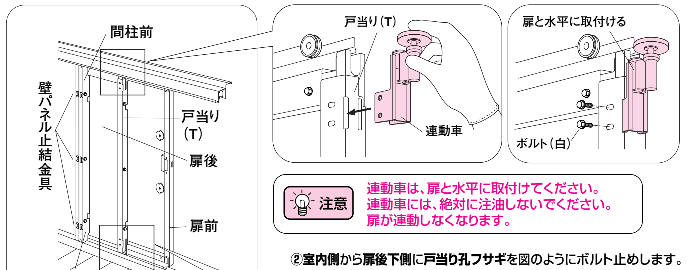

すきま
戸車プレート
調整ボルト
扉

ゆるめて調整した後締め直します。

24 連動車の取付け・扉の開閉確認

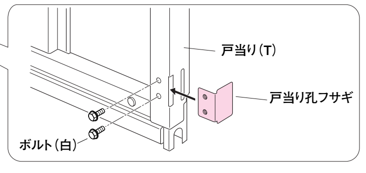
①室内側から**扉後**に**連動車**を図のように扉と水平にボルト止めします。
②扉がスムースに開閉するか確認します。

ワンポイント 車部分を押し下げると取付け易くなります。


間柱前
壁パネル止結金具
戸当り（T）
扉後
扉前
戸当り（M）
庫内側
戸当り（T）
連動車
扉と水平に取付ける
ボルト（白）

注意 連動車は、扉と水平に取付けてください。連動車には、絶対に注油しないでください。扉が連動しなくなります。

②**室内側**から**扉後下側**に**戸当り孔フサギ**を図のようにボルト止めします。


戸当り（T）
戸当り孔フサギ
ボルト（白）

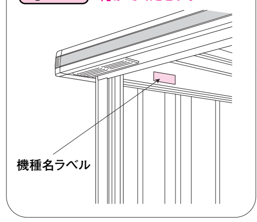
注意 扉の開閉が重い、スムースに連動しない場合は工程⑥注意を参照してください。
扉が戸当りに接触する場合は工程㉑注意を参照してください。

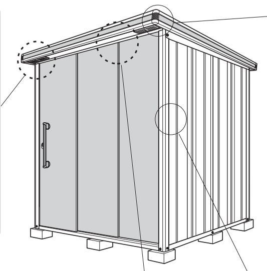
ボルト（白） 4本

25 その他の部品取付け

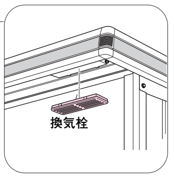
①取扱説明書に同封の対応する**機種名ラベル**を上枠左に貼ります。

注意 機種名ラベルは必ず貼付けてください。



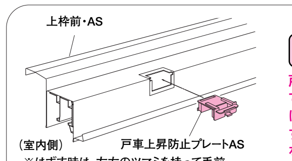


③**換気栓（左右共通）**をはめ込みます。



※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。

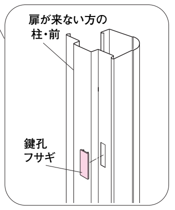
②上枠・前ASに**戸車上昇防止プレートAS**を取付けます。（3カ所）


上枠前・AS
（室内側）
戸車上昇防止プレートAS

※はずす時は、左右のツマミを持って手前に引きます。

注意 戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートASを必ず取り外してください。

④扉の来ない方の柱前に**鍵孔フサギ**を取付けます。


扉が来ない方の柱・前
鍵孔フサギ

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（1811（H）・1815（H））
ヨドコウ
淀川製鋼
（2008.2月制作）